

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位 千円)

予算現額 612,045 千円
 決算額 603,682 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,224	1,826		6,888	574,744

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書								
1. 学校行事開催事業	2,199	<p>子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援した。</p> <p>科学創作展</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を展示し、一般に公開した。 委託先 : 伊勢市科学創作教育振興会 開催日 : 平成18年9月9日(土)~10日(日) 開催場所 : 伊勢市生涯学習センター 委託料 : 215千円 <p>教育美術展</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 児童生徒の絵画、書写作品を展示し、一般に公開した。 委託先 : 伊勢市教育美術展運営委員会 開催日 : 平成18年12月2日(土)~3日(日) 開催場所 : 伊勢市生涯学習センター 委託料 : 305千円 <p>音楽演劇発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : 各公立中学校のクラブ員を中心とした生徒が日頃の音楽演劇活動をそれぞれ発表した。 委託先 : 伊勢市中学校連合音楽演劇発表会 開催日 : 平成18年11月17日(金) 開催場所 : 観光文化会館 委託料 : 1,639千円 <p>小俣幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : PTAの主催で園児を対象に開催した人形劇(題名:まほうつかいのパーバガヤ)の開催料に対して補助を行った。 開催日 : 平成18年10月26日(木) 開催場所 : 小俣幼稚園 補助金 : 20千円 <p>明野幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 : PTAの主催で園児を対象に開催した人形劇(題名:ちゅーちゅーランド)の開催料に対して補助を行った。 開催日 : 平成19年1月17日(水) 開催場所 : 明野幼稚園 補助金 : 20千円 	頁 265								
2. スクールバス運行事業	7,398	<p>三重交通(株)にスクールバス運行業務を委託し、横輪・矢持地区の児童生徒を、また嘱託員のスクールバス運転手を雇用し、高麗広地区の児童生徒の通学上の安全を確保した。</p> <p>平成18年度利用者数</p> <table> <tr> <td>上野小学校</td> <td>4人</td> <td>進修小学校</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>沼木中学校</td> <td>2人</td> <td>五十鈴中学校</td> <td>1人</td> </tr> </table>	上野小学校	4人	進修小学校	1人	沼木中学校	2人	五十鈴中学校	1人	265
上野小学校	4人	進修小学校	1人								
沼木中学校	2人	五十鈴中学校	1人								

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 学校教育支援事業	65,389	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員、介助員や教育支援ボランティアを配置し、障害児学級や普通学級に在籍する児童生徒の生活面や学習面の支援を行った。また、個に応じた学習指導や活動支援を行い、確かな学力の定着や、さまざまな教育活動の充実を図った。 ・地域人材等を学校安全ボランティアとして登録し、通学路等の警備を行い、幼児児童生徒の安全確保を図った。 <ul style="list-style-type: none"> 学習支援員(含：介助員) 延べ48人 教育支援ボランティア 95人 学校安全ボランティア 669人 ・生徒が悩み等を話せる身近な相談相手として、心の支援員(心の教室相談員)を配置した。 <ul style="list-style-type: none"> 小学校6校 5人 (1人は2校と中学校1校を兼務) 中学校9校 9人 (1人は小学校も兼務) 	265
4. 奨学金育英事業補助金	11,970	<p>国家社会に貢献する有用な人材を育成するため、学校教育法による大学・高等専門学校・高等学校に在学する学生・生徒で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学金を支給した。</p> <p>県外大学：34人 県内大学：25人 公立高校：53人 私立高校：22人 高専：3人 旧二見町 公立高校：1人</p>	265
5. 私立学校等振興助成事業	90,277	<p>私立幼稚園就園奨励費補助金(国の補助事業) 国の基準に基づき、私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対して世帯の所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給者数：1,047人 ・補助金支給額：75,581千円 <p>私立幼稚園保育料補助金 市内の私立幼稚園に在園する市内在住の4歳～5歳児の保護者に対し、保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給者数：856人 ・補助金支給額：4,280千円 <p>幼児教育育成補助金 市内私立幼稚園の幼稚園経営の健全化を高めるため、幼稚園の運営費に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給額：10,416千円 	265

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 3. 教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 170,166 千円
 決算額 165,977 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,000			164,977

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 教育相談事業	3,925	・教育研究所の相談事業を広く周知するために、広報への掲載並びに電話相談カードやパンフレットを配布し啓発したことにより、児童、保護者等が相談しやすくなった。 ・学校、保護者等との連携をはかり、子どもの教育全般に関し、親や学校の悩みに応えるため、平日午前9時から午後5時まで教育相談員2名により電話又は面談による相談を行い、関係機関との連携をとりながら、悩みを軽減、解消することに努めた。 相談件数 延べ73件	頁 265
2. 適応指導教室事業	1,222	不登校児童、生徒のために「教育支援センター」において、指導員2名、研修員1名、非常勤講師1名により、生活や学習の指導を行った。また、個別カウンセリング、集団活動など継続的な適応指導及び自然体験や宿泊体験、社会体験などを通して、自立性や意欲を高め、集団への適応力を培った。 また、平日午前9時から午後5時まで、指導員により、保護者等からの電話又は面談による相談を受け付けたり、学校訪問を行ったりした。その結果、学校復帰に向け、学校と保護者等の連携を強化することができた。 教育支援センターへの通級生徒数 26名 教育支援センターへの相談件数 1290件(延べ1388件)	265

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 教育研究推進経費	4,703	<p>1. 幼稚園教育研究 幼稚園教育における今日的、将来的な課題について、教育研究所と幼稚園現場が協力しながら、幼児の育成に資する研究を進め、人との関りを通して豊かな心を育む幼児を育成することができた。 研究協力園：豊浜東幼稚園</p> <p>2. 課題研究 平成14年度から新たな形態で進めている研究所と研究協力校による課題研究プロジェクトを中心に実践的な交流の場を設定し研究を進め、教職員の授業力を高めることができた。 研究協力校：有緝小、二見中、城田中、北浜小、北浜中</p> <p>3. 自由研究 教育現場における子どもの指導にかかわる今日的な問題の中から、自由に課題を設定し、5グループで教職員が研究を進め、その成果を授業公開等により、教職員の資質向上に役立てた。</p> <p>4. 資料作成研究 資料作成委員会に研究を委託した。小学校3,4年生用社会科副読本「わたしたちの伊勢市」について、市町村合併を含めた社会情勢を考慮し、新たに編集し、授業に活用できるようにした。</p> <p>5. 情報教育研究 情報教育研究会に研究を委託した。教育用ライブラリを立ち上げる準備段階として、研究授業や研修講座などの教育情報をデジタル化し、資料として編集し、各学校で活用できるようにした。</p> <p>6. 食教育研究 食に関する指導の研究を進め、その成果を授業公開することにより、食教育の充実に役立てた。 研究協力校：東大淀小学校</p>	265
4. 研修講座開催事業	604	<p>教職員研修講座として、教科・不登校問題・食教育・乳幼児研修について教職員対象に開催し、資質・指導力向上を図った。また、教育相談専門講座としてカウンセリング実践を交えた研修を行い、学校カウンセリングに役立つようにした。</p>	265
5. 不登校対策ハートケア事業	1,741	<p>水曜日・木曜日の午後にカウンセラー2名が常駐し、面接相談におけるカウンセリングを実施し、児童生徒や保護者等の支援を行い、悩みを軽減、解消した。 相談件数 36件（延べ81件） 不登校問題事例研究会では、教員が不登校の子どもを支援する方法を学びあうと共に、臨床心理士、医師等専門家からの助言を得て各校における支援体制の確立を図った。 フレンドシップワーク事業では、メンタルフレンド（大学生）による教育支援センター活動や家庭訪問等の支援を行い、子どもの自立への助けとなった。</p>	265
6. 小学校教育用コンピュータ整備経費	8,055	<p>ミレニアムプロジェクトにおける国のIT設置基準を概ね完了した。 （基準内容：コンピュータ教室40台設置（小規模校は一人1台化）、普通教室2台及び特別教室6台設置、普通教室及び特別教室校内にLANを敷設し、CATV回線によりインターネットを接続） このことにより、情報教育が推進され、授業の充実に向け支援することができた。</p>	267

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 中学校教育用コンピュータ整備経費	3,681	ミレニアムプロジェクトにおける国のIT設置基準を概ね完了した。 (基準内容: コンピュータ教室40台設置(小規模校は一人1台化)、普通教室2台及び特別教室6台設置、普通教室及び特別教室校内にLANを敷設し、CATV回線によりインターネットを接続) このことにより、情報教育が推進され、授業の充実に向け支援することができた。	267
8. 緊急連絡メール配信経費	1,659	約5,400人の保護者の登録があり(全体の約44%)、不審者情報、行事の有無、活動時刻の連絡など保護者、学校安全ボランティア、地域自主防犯組織に情報発信することができた。また、学校長や教職員等にもすばやく必要な情報を連絡できるようになった。	267

(款)11. 教育費 (項)1. 教育総務費 (目)4. 人権教育費

(単位 千円)

予算現額 62,151 千円
決算額 61,219 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,611			58,608

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 講演会研修開催事業	966	伊勢市人権講演会 辛坊治郎さん(読売テレビ・解説委員、芦屋大学客員教授)を講師として招き、平成18年12月10日にいせトピアで開催(517人の参加)し、人権に対する正しい理解と認識を広めさせることができた。 第1回伊勢市人権教育をすすめる市民の集い 具志アンデルソン飛雄馬さん(特定非営利活動法人「多文化共生NPO世界」理事長)を講師として招き、平成18年8月2日にいせトピアで開催(384人の参加)し、同和問題の正しい理解と認識を広めることができた。 管理職(教頭)人権教育研修会 市内小・中学校での人権教育の取り組みをよりいっそう深めるため、管理職(教頭)を対象に平成18年6月15日に講演会、意見交換等の研修会を開催した。	267
2. 人権教育研究委託経費	1,086	人権・同和教育に関わる事業の充実を図るため、人権・同和教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託した。	267
3. 同和問題地域啓発推進事業	418	市内の4自治会を指定し、各3名の推進委員を委嘱して、6回の合同研修を開催した。その後、推進委員がリーダーとなって、各地域住民の同和問題への正しい理解を広めるため、啓発活動を行った。本年度は、八日市場町会、辻久留町会、松下自治会、新高1区南自治会の各自治会で実施した。	267
4. 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業	1,076	小学校区を単位として、人権・同和教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めた。 結成団体数 17団体	267

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 人権教育ビーコンスクール事業	1,159	市内の中学校区において、その中学校区の小学校や地域と連携して人権教育の取り組みを行う拠点校として、五十鈴中学校に委託し、実践研究に取り組むとともに、その実践内容を市内各学校に発信し、人権教育の一層の充実を図った。	267
6. 人権教育研究推進経費	480	それぞれの中学校区で人権教育の指導の改善・充実について実践研究に取り組むとともに、幼稚園・小学校・中学校がそれぞれ授業交流に努めた。平成18年度は、倉田山・厚生・港・沼木・五十鈴・二見中学校区を研究指定校に指定し実施した。	267
7. 人権・同和教育基本方針推進プラン事業	159	人権教育基本方針策定委員会を立ち上げ、審議の上、平成19年1月に新基本方針を策定した。その後推進プランの検討を図りながら、基本方針を周知する研修会を実施した。	267
8. 三重県人権・同和教育研究大会負担金	2,822	『差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する「教育」を確立しよう』をテーマに南勢志摩地域3市4町が地元実行委員会を組織し、10月21日・22日の2日間にわたり大会を実施した。	267
9. 子ども人権フォーラム21開催事業	362	子ども達が人権学習や生活の場で学んだことをもとに体験等を発表し合い、お互いの思いや願いを受け止めあいながら人権問題に対する認識を深め、人権学習の充実を図ることを目的として実施した。	267

(款)11. 教育費 (項)1. 教育総務費 (目)5. 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 25,211 千円
決算額 23,611 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	181			23,430

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権教育指導員設置経費	13,445	人権教育指導員を教育集会所等に配置し、地域に密着した社会人権教育の推進を図った。	267
2. 教育集会所人権教育事業	617	人権問題に関する理解と認識を深めるため、子ども人権スクール、成人学習講座などを開き、市民に学習の場と機会を提供した。	267

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 597,106 千円
 決算額 475,883 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,428	19,400			447,055

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 小学校警備委託経費	6,770	市内小学校が夜間、休日は無人状態のため、機械警備を導入し、盗難、不法侵入を未然に防止するため専門業者に警備業務を委託し施設管理の強化を図った。	頁 269
2. 小学校整備事業	51,189	伊勢市内の学校施設及び学習環境の一層の充実を図った。 門扉フェンス等設置工事(進修小ほか) 9,435千円 下水道接続工事(大湊小、神社小) 7,101千円 洋式トイレ設置工事(修道小ほか) 2,788千円 給食業者搬入路等用地整備工事(二見小) 4,815千円 コピー室外部塗装工事(今一色小) 488千円 排水設備設置工事(今一色小) 2,293千円 外壁改修工事(今一色小) 7,360千円 理科室改修工事(明野小) 2,970千円 トイレ窓転落防止手すり取付(御園小) 87千円 職員図書室照明設置工事(御園小) 22千円 排水設備工事(御園小) 1,295千円他	269
3. 小学校備品購入経費	8,065	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	269

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 73,373 千円
 決算額 71,130 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,251	1,195			68,684

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 小学校教材整備経費	13,470	教育現場で学習指導要領を実施するにおいて、必要とする教材および著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 24校(伊勢市立小学校全校) 理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 6校(修道、中島、明倫、大湊、豊浜西、東大淀) 特殊教育設備整備 新設された特別支援学級に対し、障がいに対応した備品を整備し、教育環境の充実を図った。 ・整備校 2校(豊浜東、北浜) 障がいに適応した教育を実施するため、障がいに対応した情報機器を整備し、情報教育を実施した。 ・整備校 2校(佐八、豊浜東)	頁 271
2. 学校図書館充実経費	5,147	学校図書館がその機能を十二分に発揮できるよう、学校図書館図書の実用化を図った。 整備校：24校(伊勢市立小学校全校)	271
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	36,365	経済的理由により、就学困難な児童に学用品費・修学旅行費・学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 支給対象者 要保護 28人 準要保護 590人 合計 618人	271
4. 遠距離児童通学費扶助事業	1,677	遠距離通学を行っている児童の安全と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の助成を行った。 対象校：中島小学校、佐八小学校、東大淀小学校、二見小学校	271
5. 修学旅行経費助成事業	5,746	小学校修学旅行の児童支払い分の20%を補助し、児童の見聞を広める教育活動の支援と保護者負担の軽減を図った。	271
6. 特色ある教育活動支援事業	2,507	各小学校が新たな時代の要請に対応できる教育実践を進めるため、学校や地域の実態に即した創意に満ちた特色あるかつ魅力のある教育活動を展開した。 実施校数 19校	271

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 基礎学力向上推進事業	1,636	<p>児童の基礎・基本の定着、学力の向上を図るために小学校2校の研究協力校の協力を得て、指導方法に関する実践的研究を行い、そこで指導モデルの作成を行った。</p> <p>事業推進のために基礎学力向上推進会議2回、学力向上・学校経営に係る研修会2回、授業研究会4回を開催した。</p> <p>また、市内小学校24校において、小学校5年生を対象に国語・社会・算数・理科で目標標準規準検査(CRT)を実施し、市全体の結果について市内小学校教諭に依頼し、分析を行った。</p>	271

(款)11.教育費 (項)2.小学校費 (目)3.小学校建設費

(単位 千円)

予算現額 1,315,402 千円
決算額 1,175,898 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
493,556	2,957	485,700	75,459	118,226

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 有緝小学校校舎改築事業	936,825	有緝小学校は平成9年度・平成15年度に旧館・新館の耐力度調査を実施し、危険校舎に認定されたので平成17年～18年度の2カ年で校舎改築を計画し、解体工事を実施し、校舎改築を行った。	271
2. 小学校耐震補強事業	239,073	<p>安全な学習環境を整備するため耐震補強工事を実施した。</p> <p>大湊小学校(校舎・屋内運動場) 北浜小学校(校舎・屋内運動場) 東大淀小学校(屋内運動場)</p>	271

(款)11.教育費 (項)3.中学校費 (目)1.中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 541,787 千円
決算額 248,408 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,812	8,600			234,996

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校警備委託経費	4,077	市内中学校が夜間、休日は無人状態のため機械警備を導入し、盗難、不法侵入を未然に防止するため、専門業者に警備機器の設置を委託し施設管理の強化を図った。	273
2. 中学校備品購入経費	3,539	学校管理、事務処理など学校運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	273

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 中学校整備事業	10,940	伊勢市内の学校施設及び学習環境の一層の充実を図った。 門扉フェンス等設置工事(倉田山中ほか) 6,822千円 転落防止柵設置工事(五十鈴中) 1,092千円 洋式トイレ設置工事(五十鈴中ほか) 1,998千円 保健室小型卓上電気温水器設置工事(御園中) 121千円 改修(可動間仕切壁固定)工事(御園中) 808千円他	273

(款)11. 教育費 (項)3. 中学校費 (目)2. 中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 108,012 千円
決算額 105,622 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
719	2,145		407	102,351

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校教材整備経費	13,106	教育現場で学習指導要領を実施するにおいて、必要とする教材および著しく老朽化した教材を整備した。 また、破損した教材を修理し、学習環境を整えた。 ・整備校 12校(伊勢市立中学校全校) 理科教育設備整備 科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 3校(倉田山中、港中、城田中) 特殊教育設備整備 障がいに対応した教育を実施するため、障がいに対応した情報機器を整備し、情報教育を実施した。 ・整備校 1校(五十鈴中)	273
2. 学校図書館充実経費	3,955	学校図書館がその機能を十二分に発揮できるよう、学校図書館図書の実質化を図った。 整備校: 12校(伊勢市立中学校全校)	275
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	22,242	経済的理由により、就学困難な生徒に学用品費、修学旅行費、学校給食費を給与し、必要な援助を行った。 支給対象者 要保護 9人 準要保護 314人 合計 323人	275
4. 修学旅行経費助成事業	13,532	中学校修学旅行の生徒支払い分の20%を補助し、生徒の見聞を広める教育活動の支援と保護者負担の軽減を図った。	275
5. 特色ある教育活動支援事業	1,833	各中学校が新たな時代の要請に対応できる教育実践を進めるため、学校や地域の実態に即した創意に満ちた特色あるかつ魅力のある教育活動を展開した。 実施校数 11校	275

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 基礎学力向上推進事業	2,011	生徒の基礎・基本の定着、学力の向上を図るために中学校2校の研究協力校の協力を得て、指導方法に関する実践的研究を行い、そこで指導モデルの作成を行った。 事業推進のために基礎学力向上推進会議2回、学力向上・学校経営に係る研修会2回、授業研究会4回を開催した。 また、中学校12校において、中学校2年生を対象に国語・社会・数学・理科・英語で目標準拠規準検査(CRT)を実施し、市全体の結果について市内中学校教諭に依頼し、分析を行った。	275
7. ALT活動事業	33,903	英語を母国語とする青年を招致し、中学校の英語科教員とともに英語指導にあたり生徒の語学力の向上に努めた。また、小学校、幼稚園や地域住民との交流を深め、伊勢市の国際理解教育の促進を図った。 JETプログラムALT:5人 民間派遣ALT:3人	275

(款)11.教育費 (項)3.中学校費 (目)3.中学校建設費

(単位 千円)

予算現額 175,492 千円
決算額 154,323 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
103,562		48,300		2,461

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校耐震補強事業	154,323	安全な学習環境を整備するため耐震補強工事を実施した。 厚生中学校(屋内運動場)、城田中学校(校舎・屋内運動場) 港中学校(校舎)、北浜中学校(屋内運動場)	275

(款)11.教育費 (項)4.幼稚園費 (目)1.幼稚園費

(単位 千円)

予算現額 201,667 千円
決算額 195,825 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
696			21,265	173,864

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 幼稚園整備事業	2,017	神社幼稚園の公共下水道接続工事を実施した。 1,170千円 北浜幼稚園に2人用のブランコを設置した。 234千円	275
2. 幼稚園備品購入経費	979	幼稚園管理、事務処理など幼稚園運営上必要とし、老朽化、不足している庁用備品の整備を進め、学校環境の充実を図った。	275

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費

(単位 千円)

予算現額 136,484 千円
 決算額 135,026 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				135,026

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 社会教育推進事業	7,349	1. 家庭教育の充実 生活の基盤となる家庭での交流、教育力の向上を図るため次の事業を実施した。 家庭教育相談業務 子育て、家庭教育の相談、助言 電話相談 37件 面接相談 73件 家庭教育学級の開設 市内 16幼稚園、2保育園で実施 参加者 保護者 510名、子ども 492名 親子リフレッシュコーナー 2,3歳児とその保護者を対象として、親は子育てに関する情報交換を、子どもは人との関わり方を身につけ、子育てや気持ちのリフレッシュを図った。 実施回数 24回 延参加人数 保護者 980名 子ども 1,055名 自然観察会(小俣分室) 宮川親水公園において実施。水辺の自然観察やカヌー体験を通じ親子の交流を図るとともに、自然を守っていくことの大切さを学んだ。 参加者 親子20組 54名 2. 各種社会教育団体への活動支援 地域での社会教育活動を支援するため、親子会など旧町村で活動する各種社会教育団体に補助金を交付し活動の支援を行なった。 【二見分室】 二見町子ども会育成会連絡協議会、二見町文化協会 御園・二見子どもセンター 【小俣分室】 小俣町親子会連絡協議会 【御園分室】 御園町親子会連絡協議会、御園小PTA、御園中PTA	頁 277
2. 婦人学級開設事業	1,116	修道、有緝、明倫、厚生、中島、早修、神久、一色婦人会が開催する婦人学級活動に対する支援を行った。 開講数 451回 延参加者数 5,575名	277

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 2. 公民館費

(単位 千円)

予算現額 34,770 千円
 決算額 31,301 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			616	30,685

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公民館整備事業	7,535	公民館施設を市民が快適に利用できるよう空調機器の修理を行なった。 二見公民館の修繕工事(二見分室)	279
2. 公民館補助金	5,248	地区において指定管理している御園町内の市立公民館の修繕にかかる費用の一部(2/3)を補助した。 公民館修繕補助(御園分室) 8公民館 16件	279
3. 地区公民館建設補助金	2,023	楠部町緑が丘団地住民の交流の場として設置する「緑が丘団地公民館」の建設にかかる費用の一部を補助した。 鉄骨造平屋建(建築延面積 103.32㎡)	279

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 62,032 千円
 決算額 56,490 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,500	500		5,066	48,424

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 山田奉行所記念館特別展開催事業	500	山田奉行所記念館開館1周年記念事業及び秋・冬の特別展を開催し、記念館から情報発信とPRを行い、集客数の増員を推進した。 ・1周年記念事業...「小笠原流弓馬術礼法」の披露 ・秋の特別展.....「宮川と御園」 ・冬の特別展.....「大岡越前守忠相」	279
2. 市民芸術文化誌出版事業	3,966	伊勢市総合文化誌『伊勢ぶんか』を発行し、1,000部を県内図書館や市内関係機関に無料配布、2,000部を市内書店等で頒布して、総合的な文化振興を図った。 (規格)A4版 96頁 カラー一部モノクロ (内容)特集『伝える』、座談会“文化を伝える”、「伊勢の音をつくる」、「知っていますか?」、特別寄稿、「鶺鴒の目鷹の目」、「カルカルエッセイ」、「鶺鴒の目鷹の目」、文化団体情報一覧、文化イベント年鑑など	279

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 文化講演会開催事業	1,380	積極的にプロの高度な文化芸術や学術に触れることができるよう、青島広志氏を招き、音楽劇を開催し、文化芸術の継承及び充実、学術向上を図った。 演目 「こんにちは！モーツァルトさん」 内容 モーツァルトの一生を音楽とパフォーマンスを交えた音楽劇観賞 鑑賞者数 1,006人	279
4. 市民芸能祭開催事業	1,800	第50回芸能祭は、平成18年11月5日・12日・18日・19日・23日・25日（2会場）の延べ6日間で、総合部門、吟詠剣詩舞、バレエ・モダンダンス、フォークダンス、邦楽、能楽、日舞・民踊、合唱の8部門を開催し、70団体約1,480人が出演、約3,170人が鑑賞した。	279
5. 美術展覧会開催事業	1,230	第53回美術展覧会は、平成18年10月24日～29日まで6日間開催し、平面作品（日本画、洋画、写真、書などの分野）と立体作品（彫塑・立体造形、美術工芸などの分野）の二部門制とし、合併記念として出品作品すべてを展示した。 また、公開審査制度を初めて導入し、各専門分野で行われる一次審査と、全審査員の投票で賞を決定する二次審査が行われた。 出品点数 367点 観覧者数 約2,249人	279
6. 史料保存調査経費	3,000	四郷地区各町が所蔵する古文書等の歴史資料のうち、主に楠部町有資料1万6千点、中村町有資料6.5千点について、国・県の補助を受け、平成15年度から平成19年度までの5箇年、全体事業費15,003千円（国50%、県10%以内）で調査を実施する。 平成18年度は、楠部町有文書、中村町有文書のカード化、データ入力、マイクロフィルム撮影等を行った。	281
7. 造船資料保存調査経費	1,136	旧市川造船所に残された資料は、明治から昭和に至る時代のもので、木造船から西洋型造船技術への推移を如実に物語る貴重な資料である。そのため、資料の散逸を防ぐことを目的に、船具資料を市の施設へ移管し、資料の目録作成に取り掛かった。	281
8. 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	1,930	伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。 【交付先】 馬瀬狂言保存会、円座町鞆鼓踊保存会、佐八町かんこ踊り保存会、東大淀町御頭神事保存会、一色町能楽保存会、能楽勝田流（通能）保存会、祭礼保存会、河崎音頭保存会、楠部町萬歳楽保存会、河崎音頭保存会、朝熊町河崎踊りを守る会、伊勢音頭保存会、伊勢古市歌舞伎保存会、共敬社、中小俣かんこ踊り保存会、下小俣かんこ踊り保存愛好会、掛橋御頭舞保存会、官舎神社獅子舞保存会、小俣離宮院太鼓保存会、高向御頭神事、上條区、小林大念仏（全22団体）	281
9. 文化財案内板設置事業	880	市内にある旧跡等の文化財の所在を明らかにし、顕彰するため設置するものである。 平成18年度は案内板「曼荼羅石」（中村町）を設置し、「南山古墳」（鹿海町）、「隠岡遺跡」（倭町）を修繕した。	281

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
10. 一色の翁舞記録作成経費	2,083	<p>一色の翁舞は、平成7年に国の記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財に選択されているが、調査事業が未実施で、関係者の高齢化もあり、継承の形態が口伝によるところが大きいことから、将来的伝承の一助として調査報告書を作成するものである。</p> <p>国・県の補助を得て文書記録を平成18・19年度の2箇年で実施し、映像記録は平成19・20年度の2箇年で実施する予定である。</p> <p>【平成18年度事業内容及び決算額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録撮影業務委託 710千円 ・調査及び委員会開催経費 1,373千円 	281
11. 文化財保存整備事業補助金	10,827	<p>市内に所在する指定文化財等の適正な保存管理を図り、文化財保護の充実に資することを目的とするものである。</p> <p>【平成18年度事業内容及び決算額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容 寂照寺所有 県指定有形文化財「経蔵」 軸部修理、屋根瓦葺き替え及び軒裏修理 ・実施期間 平成18年7月15日から平成19年3月30日 ・決算額 3,265千円 ・事業内容 寂照寺所有 県指定有形文化財「木造諸尊仏龕」 移動に耐えられる程度の応急修理 ・実施期間 平成19年3月19日から平成19年3月31日 ・決算額 38千円 ・事業内容 神宮所有 国指定重要文化財「角屋家貿易関係資料」 御朱印旗1旒の保存修理及び保存箱の作製 ・実施期間 平成18年6月1日から平成19年3月30日 ・決算額 595千円 ・事業内容 神宮所有 国指定重要文化財「神宮祭主職舎本館」 消火、通報、警報、自動火災報知設備設置 ・実施期間 平成18年4月1日から平成18年11月30日 ・決算額 6,929千円 	281
12. 特別展等開催事業	380	<p>第18回特別展として、郷土資料館において「華寿 慶谷隆夫コレクション展」(平成19年2月17日～4月1日)を開催し、509人の観覧があった。</p> <p>また、郷土資料館において開催された企画展としては、春季に、「神都の書画人 - 伊勢における四条・円山派の系譜1 - 」(平成18年5月3日～7月9日)を開催し、583人の観覧があった。夏季に「わかるかな!? - 何に使うの? 昔の道具 - 」(平成18年7月22日～9月24日)を開催し、493人の観覧があった。</p> <p>なお、夏季企画展において、展示説明会を5回開催し、13組の親子の参加があった。</p>	281
13. 尾崎号堂顕彰事業	50	<p>企画展として「号堂・尾崎行雄写真展～人間号堂・そのひとときの顔～」(5月21日～9月10日)を尾崎号堂記念館において開催し、310人の観覧があった。</p> <p>また、来館者の調査・研究の一助のため、展示用の浜田国松セット(書簡、新聞等資料)、閲覧用のDVD(相馬雪香 平和への行動・未来への情熱)を購入した。</p>	281

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年対策費

(単位 千円)

予算現額 15,827 千円
 決算額 14,878 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	200			14,678

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 青少年健全育成推進事業	2,650	1. 全国青少年三悪非行防止実践活動と全国青少年健全育成強調月間の期間内、市庁舎に啓発のぼり旗や懸垂幕を掲示し、啓発を行った。 2. 青少年が安心して暮らせる安全なまちをつくるため、また、さまざまな自然体験や生活体験で有意義に過ごせる受け皿を整えるために、青少年育成市民会議への事業委託、コミュニティーチャーター(地域指導者)の育成など、地域主導型による青少年健全育成活動を実施した。 伊勢市青少年育成市民会議本部 260,000円 伊勢市青少年育成市民会議伊勢支部 1,065,000円 伊勢市青少年育成市民会議二見支部 597,000円 伊勢市青少年育成市民会議小俣支部 130,000円 伊勢市青少年育成市民会議御園支部 386,000円	頁 281
2. 飯田市交流会実施事業	2,131	山のまち飯田市と海に面した伊勢市の小中学生が児童・生徒会活動や学校内外の生活、住んでいる地域社会について交流し、友情と連携の輪を強め、次代のリーダーとしての親睦を深めることを目的に実施した。 【夏季】平成18年8月3～4日、飯田市の小学生28人と伊勢市の小学生92人が、神宮会館・大湊海岸・神宮徴古館農業館において、児童会活動発表、海水浴、郷土芸能体験等を行うことにより交流を深めた。 【冬季】平成19年1月21～22日、伊勢市の中学生36人と飯田市の中学生28人が、スキーや水引細工などの郷土芸能体験等を行うことにより交流を深めた。	281
3. 成人式開催事業	2,847	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ますため、成人の日にちなみ、平成19年1月7日、三重県営サンアリーナにおいて、「新成人のつどい」を開催した。 成人者数 男737人 女786人 計1,523人 出席者数 男642人 女589人 計1,231人	281

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 5. 図書館費

(単位 千円)

予算現額 176,690 千円
 決算額 175,058 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			460	174,598

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 図書マーク化等業務経費	2,215	分類記号等書籍項目の統一とデータ作成を委託することにより、事務の効率化・簡素化を図った。 (伊勢図書館 1,520千円、小俣図書館 695千円)	283
2. 図書整備経費	30,315	閲覧用図書、雑誌、新聞、官報、視聴覚資料を購入し、図書資料をより一層充実させ、図書利用の促進を図った。 購入図書資料 伊勢図書館 9,117冊(ふるさと文庫分含む) 小俣図書館 6,445冊 二見公民館図書室 119冊 購入視聴覚資料 伊勢図書館 21点 小俣図書館 78点 (伊勢図書館 17,016千円、小俣図書館 13,099千円、二見公民館図書室 200千円)	283
3. ブックスタート支援事業	1,988	子育て支援の一環として、家庭内で絵本を通じた親子の交流のきっかけとなるよう、対象乳幼児に絵本の2冊入ったブックスタートパックを配付した。 配付数 1,064人	283
4. 電算業務経費	12,037	電算システム導入による蔵書管理を行い、貸出返却事務の簡略化とスピードアップ及びインターネットによる蔵書情報の提供を行い、利用者サービスの充実を図った。 (伊勢図書館 10,790千円、小俣図書館 1,247千円)	283

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 6. 生涯学習費

(単位 千円)

予算現額 26,759 千円
 決算額 23,921 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				23,921

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 生涯学習推進事業	14,184	1. 生涯学習講座の実施 生涯学習のきっかけづくりの場として、生涯学習センターや公民館等において各種講座を実施した。 また、学習の成果の発表として文化フェスティバルや公民館まつりを開催した。 (二見分室) 全25講座 受講者数 482名 (小俣分室) 全20講座 受講者数 361名 (御園分室) 全15講座 受講者数 280名 2. 団体への助成(御園分室 1,421千円) 御園町文化協会及び加入団体の活動を補助し、文化振興を支援した。 3. 伊勢市生涯学習推進協議会 伊勢市の生涯学習関連事業に対し、様々な視点から協議した。	頁 285
2. 子どもの体験活動推進事業	402	子どもたちにさまざまな体験活動の場を提供する団体を支援した。 (二見分室) ボランティアコーディネーター謝金 (御園分室) 御園・二見子どもセンター補助金	285
3. 生涯学習フェスティバル開催事業	2,000	団体の助成(小俣分室) 小俣町文化協会及び加入団体の活動を補助し、文化振興を支援した。 また、日頃の生涯学習活動の発表の場として、11月に小俣環境改善センターにおいて、作品発表会、芸能発表会を3日間にわたり開催した。	285
4. 生涯学習講座用コンピュータ整備事業	5,464	いせトピア設置のパソコンを買い替え、市民の学習環境の整備に努めた。 (内訳) パソコン室 25台	285

(款) 11 . 教育費 (項) 5 . 社会教育費 (目) 7 . 生涯学習センター費

(単位 千円)

予算現額 84,801 千円
 決算額 83,528 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,364	82,164

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 生涯学習センター 施設維持管理経費	83,528	指定管理者制度の導入 民間の能力を活用し施設の効果的、効率的な管理運営を行うため、伊勢市生涯学習センター「いせトピア」に指定管理者制度を導入した。 指定管理者：特定非営利活動法人 まなびの広場 指定期間：平成18年4月1日～平成21年3月31日(3年間)	285

(款) 11 . 教育費 (項) 5 . 社会教育費 (目) 9 . 観光文化会館費

(単位 千円)

予算現額 49,146 千円
 決算額 48,598 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,299	47,299

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 観光文化会館自主 事業	624	伊勢市合併事業として、平成18年10月22日にNHK公開番組「BSカラオケ塾」を招聘した。出演者天童よしみ・西尾夕紀ほか 入場者 1,006人	287

(款) 11 . 教育費 (項) 6 . 保健体育費 (目) 2 . 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 85,649 千円
 決算額 84,646 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			17,733	66,913

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 児童生徒保健管理 事業	80,408	学校保健法に基づく健康診断として、児童生徒及び園児に対し、校医による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、児童生徒の健康管理に努めた。	287
2 . 教職員健康管理事 業	3,030	県費負担教職員に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図った。	287

(款) 11 . 教育費 (項) 6 . 保健体育費 (目) 3 . 学校給食費

(単位 千円)

予算現額 508,078 千円
 決算額 479,322 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			751	478,571

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 学校給食管理経費	102,652	「安全でおいしい学校給食」が円滑に実施できるよう、調理室等の衛生面に重点をおき、給食備品を修理、購入して設備の充実に努めた。給食関係者の検便、給食室の環境衛生検査等を実施することにより、食中毒の防止に努めた。	頁 289
2 . 給食施設整備経費	17,722	学校給食備品のうち老朽化しているものについて、耐用年数及び機能を調査したうえで計画的に購入し設備の充実に努めた。 ・給食室更新にともない諸機器を購入(有緝小) ・老朽化したボイラーを撤去し給湯器を設置(中島小) ・下処理シンクをステンレス製シンクに変更(小俣小) ・牛乳保冷庫の購入(厚生小・豊浜中・五十鈴中)	289
3 . 学校給食衛生管理強化経費	6,854	調理士の健康及び安全衛生上の問題を改善するため、空調設備を設置した。 修道小学校・明倫小学校	289

(款) 11 . 教育費 (項) 6 . 保健体育費 (目) 4 . 体育振興費

(単位 千円)

予算現額 72,966 千円
 決算額 64,765 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,164	57,601

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 体育指導事業	3,958	地域におけるスポーツ振興のため、委嘱された体育指導委員が、生涯スポーツの普及を図った。 委員数：71名	頁 291
2 . 生涯スポーツ行事開催事業	7,282	体育祭を筆頭に、さまざまなスポーツ大会、教室を開催し、地域住民の健康増進を図った。(本庁、御園分室) 地域住民の健康増進ならびに相互の親睦と交流を深めるために二見町民体育祭を開催した。また、伊勢市内の小中学生を対象に二見ふれ愛マラソンを開催した。(二見分室) 事業として歩け歩け運動や軽スポーツ大会を開催し、約500名の参加があった。また、おばた町民体育祭では、約3900名の参加があり、地域住民の健康増進ならびに各位の親睦と交流を深める場となった。(小俣分室)	291

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 総合型地域スポーツクラブ育成事業	5,978	生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子供から高齢者まで全ての地域住民が各自のニーズに沿って気軽にスポーツ活動に参加できる、地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。 (本庁、御園分室) 小俣町地域での総合型地域スポーツクラブとして、「おばたスポレククラブASREC」が設立され、様々な教室やイベント等を開催し、その運営補助をした。(小俣分室)	291
4. B & G海洋センター事業	538	海洋性スポーツを通して、子供たちに水に触れる機会の提供と、心身の健康保持を図った。 また、B & G財団並びに近隣海洋センターとの情報交換、情報共有を図った。(御園分室)	291
5. 小学校体育活動推進事業	1,988	市内小学校の陸上記録会を開催した。また、全国大会に参加する選手と引率者の旅費を支援した。(本庁)	291
6. 中学校体育活動推進事業	17,586	市内中学校の体育大会を開催した。また、全国、東海大会等に参加する選手と引率者の旅費を支援した。(本庁) 中学校の運動クラブを支援し、クラブ活動の推進と保護者負担の軽減をした。(二見分室、小俣分室、御園分室)	291
7. 全国大会等参加激励事業	1,542	県内予選を勝ち抜いて、伊勢市を代表して、全国大会に参加する選手の旅費を一部負担した。(本庁)	291
8. ジュニア育成事業	1,172	子どもたちの運動離れ、体力低下に歯止めをかけるため、スポーツ少年団、体育協会にジュニア育成のための、スポーツ大会や教室の開催を委託した。(本庁)	291
9. 集客誘致大会開催事業負担金	15,127	集客交流事業として、全国規模の大会を誘致し開催した。伊勢市への経済波及効果と伊勢市総合計画で掲げた「交流で創るまちづくり」を達成することができた。 お伊勢さん健康マラソン大会(2,103人)、全日本ソフトテニス大会(910人)など6大会を誘致開催し、約4,500人の参加があった。(本庁)	291

(款) 11 . 教育費 (項) 6 . 保健体育費 (目) 5 . 体育施設費

(単位 千円)

予算現額 312,506 千円
 決算額 105,777 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			12,596	93,181

生涯学習・スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 集客体育施設管理 運営経費	21,126	高校野球夏季大会、神宮奉納社会人野球大会などの各種野球大会、及び神宮奉納全日本ソフトテニス大会、都道府県対抗全国中学生ソフトテニス大会などの各種テニス大会の円滑な運営と、一般利用者が快適にプレーできるよう、専門業者へ委託等しながら年間を通じて管理した。 (倉田山公園野球場、市営庭球場) (本庁)	頁 291
2 . 一般体育施設管理 運営経費	45,457	伊勢市のスポーツ振興のため、各種スポーツを楽しむ市民が施設を快適に利用できるように、年間をとおして適正な状態に保つよう管理した。 (本庁 : 五十鈴公園野球場、五十鈴公園多目的広場、五十鈴公園球技広場、宮川スポーツグラウンド、市民武道館、北浜スポーツグラウンド、宮川堤公園ゲートボール場、あさま市民プール) (二見分室 : 二見体育館、二見グラウンド、二見テニスコート、二見スポーツ公園、ミーティングセンター) (御園分室 : 宮川スポーツグラウンド) 小俣総合体育館、大仏山公園スポーツセンター、小俣児童体育館をスポーツ振興のために、各種スポーツを楽しむ住民が、より安全にまた、快適に利用できるように年間を通じて適正な状態を維持管理した。(小俣分室)	291
3 . 体育施設整備事業	30,071	倉田山公園野球場のスコアボード及びナイター照明の改修工事等を行い、地域住民が安全で快適に利用できるようにした。(本庁) 小俣総合体育館の空調設備が冷暖房ともに稼働できない状態であったため、修繕工事を行い、地域住民が快適に利用できるように整備した。(小俣分室)	291
4 . 体育施設管理一般 経費	9,123	伊勢市のスポーツ振興のため、各種スポーツを楽しむ市民が施設を快適に利用できるように、年間を通じて適正な状態に保つよう管理した。 (御園分室 : 伊勢市御園 B & G 海洋センター体育館・プール) 施設使用許可申請書作成及び三重県体育施設協会負担金を負担した。	291